

平成30年度第1回地域医療構想調整会議
「病床が稼働していない理由と今後の運用見通し」の確認結果

1 確認の対象

平成29年度病床機能報告（H29.10.1時点）において、稼働病床数がゼロ又は非稼働20床以上の病院の病棟。計20病院、32病棟、960病床

2 確認結果

(1) 稼働していない理由

	人材不足	稼働済	その他	未回答	計
病院数	12	3	4	2	21
	57.1%	14.3%	19.0%	9.5%	-
病棟数	22	3	4	3	32
	68.8%	9.4%	12.5%	9.4%	-
病床数	652	123	53	132	960
	67.9%	12.8%	5.5%	13.8%	-

※複数の病棟と理由を持つ病院があるため、病院数の合計は対象数と一致しない。
※「その他」の内容：回復期病床設置の検討中、入院患者なし等

(2) 今後の運用の見通しに関する計画

	再稼働	減床	検討中	稼働済	その他	未回答	計
病院数	8	4	5	3	1	2	23
	34.8%	17.4%	21.7%	13.0%	4.3%	8.7%	-
病棟数	13	4	9	3	1	2	32
	40.6%	12.5%	28.1%	9.4%	3.1%	6.3%	-
病床数	418	111	224	123	41	43	960
	43.5%	11.6%	23.3%	12.8%	4.3%	4.5%	-

※複数の病棟と理由を持つ病院があるため、病院数の合計は対象数と一致しない。
※「その他」の内容：介護医療院への転換

3 特徴

- ・稼働していない理由は「人材不足」が最多
- ・今後の運用見通しに関する計画は「再稼働」が最多
- ・病床を減少する方針は、4病院4病棟111病床。
- ・駿東田方で病床を減少する方針の病院が目立つ（4病院のうち駿東田方3、富士1）

4 今後の対応

- ・今後の運用見通しにおいて「検討中」の病棟（病床）については、継続協議とする（再稼働により、地域で不足する医療機能への充足ができないか検討 等）